

インド向けに LNG 再ガス化設備を受注

2019年7月12日
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社のインド現地法人である Toyo Engineering India Pvt Ltd. (Toyo-India, 会長兼社長 柳 一也)は、インドの HPCL Shapoorji Energy Pvt. Ltd. (HSEPL)が同国西部グジャラート州チャハラで計画する、LNG 払出能力年産 500 万トン再ガス化設備の新設プロジェクトを受注しました。Toyo-India が設計から工事・試運転までの EPC 業務を一括請負で実施します。プラントの完成は 2022 年初めを予定しています。

HSEPL は、国営大手石油精製会社 HPCL (Hindustan Petroleum Corporation Ltd) 社とインド建設大手シャブルジ・パロンジ傘下の SP Ports Pvt. Ltd.との間で設立された LNG 受入、貯蔵、再ガス化を行う事業会社です。HSEPL は今回建設する払出能力 500 万トン/年の設備を、将来的には 1000 万トン/年に拡張する計画もあります。

Toyo-India は Toyo-Japan とともに、ペトロネット LNG のダヘジターミナルのフェーズ I、その拡張プロジェクトであるフェーズ II、フェーズ III や GSPC LNG の Mundra ターミナル建設プロジェクトを実施してきました。LNG の需要が増え続け、急速な発展を遂げているインドにおいて、Toyo-India は LNG 再ガス化設備建設におけるトップランナーとして、更なる受注に向けた営業を展開していきます。

受注概要

- 客先: HPCL Shapoorji Energy Pvt Ltd. (HSEPL)
- 受注者: Toyo Engineering India Pvt. Ltd. (Toyo-India)
- 建設地: インド西部 グジャラート州 チャハラ
- 対象設備: LNG 再ガス化設備 (払出能力 500 万トンの新設)
- 役務内容: 設計、機器資材調達、工事、試運転までの一括請負
- 完成予定: 2022 年初め

<お問い合わせ先>

広報・IR部 [担当: 飯田、福島] TEL : 047-454-1113